

## 公益財団法人日本バレーボール協会 2013 年度第 8 回理事会(定例) 概要

1 日 時 : 2014 年 1 月 29 日(火) 15 : 25~18 : 34

2 会 場 : 東京体育館 第 2 会議室・第 1 会議室

3 出席者 :

理事総数 15 名

出席理事 11 名

代表理事

羽牟裕一郎

理事

岩満一臣、小野元之、小島和行、下山隆志、竹内浩、  
西脇克治、林義治、福本ともみ、村松泰子、山口香

監事総数 3 名

出席監事 2 名

大西浩志、廣紀江

運営委員総数 9 名

出席運営委員 8 名

荒木田裕子、井原実、小縣徹男、加治健男、工藤憲、  
高橋義雄、宮島淑行、村松喜一郎

4 議 長 : 代表理事 羽牟裕一郎

5 決議事項

- (1) 2014 年度 JVA 基本方針について
- (2) 事務局規程改定について
- (3) 重要な使用人の選任について
- (4) 運営委員の追加選任について
- (5) 広報委員長の選任について
- (6) 委員会委員等の選任について
- (7) 戦略企画会議メンバーの追加選任について
- (8) 旅費規程の改定について
- (9) 役員報酬規程の改定等について
- (10) 全日本男子・女子(シニア)監督選任規程の改定について
- (11) 強化事業本部の提案について

6 議事の経過の要領及びその結果

定刻、代表理事が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第 41 条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。

続いて今回新たに出席する運営委員の紹介が行われ、その後、議事録記名押印理事に下

山理事を選出。次の議案の審議に入った。

### (1) 2014年度 JVA 基本方針について

第5期（2014年度）の運営基本方針について以下の内容につき提案がなされ賛否を諮り、これを承認可決した。

#### <第5期（2014年度）の運営基本方針>

本会は、我が国におけるバレーボール界を統轄し代表する団体として、グローバル化、ボーダレス化、情報化、少子高齢化など急激な環境変化の中で、バレーボール競技の普及、振興および発展を図り、児童・青少年から高齢者に至るまで国民の心身の健全な育成、発達、維持および人間性の向上に寄与し、豊かな社会の形成に貢献するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

#### □育成強化

「すべての道が2020東京オリンピックに通じる」ことを念頭に

- (1) 中長期を見据え一貫した選手強化体制を確立し、2020年を念頭に置いた強化計画に全力で取り組む
- (2) 指導者の資質向上と指導カリキュラムの刷新により、コート上で考えプレーできる選手を育成する
- (3) バレーボール界における暴力・体罰の根絶を図る
- (4) ビーチバレーボール競技会の整理統合と運営、選手の発掘・育成・強化に全力をあげる

#### □組織の強化

- (1) 迅速な意思決定のため、組織強化、情報収集、人材登用を行っていく
- (2) 経費削減とプロモーション強化による収入増を図り、財務基盤を強化する
- (3) JVA加盟団体との情報共有、意思疎通を図っていく
- (4) 各方面の意見を事業運営に反映させるため、理事会に参加する運営委員をおく

#### □国際力の強化

- (1) 国際バレーボール連盟およびアジアバレーボール連盟への本会の参画・連携を更に強化する
- (2) バレーボールの価値を創造し、世界における日本バレーボールのプレゼンスを向上するための事業を効果的に推進する

### (2) 事務局規程改定について

事務局規定の改定について以下の説明がなされ賛否を諮り、これを承認可決した。

2013年10月22日開催の2013年度第6回理事会において、組織の変更に伴う事務局規程の一部変更が決議された。これを受けて2014年1月1日付けで事務局の組織を改変したことに伴い、組織の実情に合わせ、所管業務の変更や事務局事案の決裁権限などの修正が必要となった。但し、これまでの規程内容を大きく変更するものではない。

### (3) 重要な使用人の選任について

重要な使用人の選任について以下の様に諮り、これを承認可決した。

羽牟裕一郎	強化事業本部本部長（退任）
荒木田裕子	強化事業本部本部長（選任）
西脇克治	プレジデント・オフィス担当（選任）
大塚達也	国内事業本部副本部長（選任）

### (4) 運営委員の追加選任について

運営委員の選任について以下の様に諮り、これを承認可決した。

柿木 章	運営委員（選任）
------	----------

### (5) 広報委員長の選任について

広報委員長の選任について以下の様に諮り、これを承認可決した。

小島和行	広報委員会委員長（退任）
西脇克治	広報委員会委員長（選任）

### (6) 委員会委員等の選任について

委員会等委員の選任について以下の様に諮り、これを承認可決した。

吉田和夫	全国連盟代表者会委員（選任）
根元 研	指導普及委員会 指導者育成部部員（退任）

### (7) 戦略企画会議メンバーの追加選任について

戦略企画会議メンバーの選任について以下の様に諮り、これを承認可決した。

須藤実和	戦略企画会議メンバー（選任）
------	----------------

### (8) 旅費規程の改定について

旅費規程の改定について以下の説明がなされ賛否を諮り、これを承認可決した。

2013年10月22日開催の2013年度第6回理事会において運営委員が選任された事に伴い、旅費規程に運営委員に関わる事項を追加する。

#### (9) 役員報酬規程の改定等について

役員報酬規程の改定について以下の説明がなされ賛否を諮り、でこれを承認可決した。

2013年6月22日開催の2013年度第4回理事会にて、役員（常勤理事）の期末手当の支払い停止とこれに伴う月額給の変更が決議されたが、この決議は暫定的な取扱いを決めたものであった。役員の期末手当の支払停止を正式に決定するには、役員の報酬規程を変更する必要がある為、理事会にて変更案の承認をお願いしたい。なお、変更案は評議員会の承認を経て施行される事となる。

#### (10) 全日本男子・女子（シニア）監督選任規程の改定について

全日本男子・女子（シニア）監督選任規程の改定について以下の説明がなされ賛否を諮り、これを承認可決した。

主な変更点として、監督候補者の推薦方法について、従来は公募により行っていたが、今後は原則的に強化学業本部の審議に基づく推薦者、あるいは公募により行う事へ変更する。これにより、強化に携わる現場の声をより濃く反映することが可能になる。また、ゼネラルマネジャーの監督候補者選考委員会への参加、監督候補者の第一次審査に面接審査も加わる事となり、監督選考についてより一層充実した選考が行える規程内容となった。

更に、今回の監督候補者推薦について、監督候補者選考委員会の設置という過程を経ずに推薦手続きを進めて良いか提案がなされ、これを承認可決した。

#### (11) 強化学業本部の提案について

##### (全日本シニア男子チーム監督の解任について)

全日本男子監督解任について説明がなされ賛否を諮り、これを承認可決した。

##### (全日本シニア男子チーム監督の選任について)

全日本男子監督選任について以下の説明がなされ賛否を諮り、これを承認可決した。

新たな全日本男子監督として南部正司氏が推薦された。推薦理由として南部氏は、パナソニックチームの監督として手腕を振るい、V・プレミアリーグ、黒鷲旗、天皇杯などチームを優勝に導いた。また、指導力にも定評があり、周囲からの人望も厚い。更に、海外でもバレーボールを積極的に勉強するなどキャリアも申し分ないことから次期監督として推薦に至った。今後南部氏には、今まで培ってきた日本バレーの緻密さ、速さなどに加え

て、個人の基本スキルの見直しと改善、また選手・監督・コーチのコミュニケーションを密に図り、チームプレーの正確さを追求し、技術力・チーム力向上に力を注いで貰う事となる。南部氏の監督就任後は、チーム及び選手のレベルアップが図れているか、一定の期間を定め、評価をしていくことが理事会で確認された。

## 7 報告事項

### (1) 1月1日付け組織変更について

1月1日付の組織図について報告が行われた。

### (2) 戦略企画会議報告

2013年11月28日、12月19日の全2回開催された戦略企画会議報告が行われた。

第1回のミーティングでは、議論すべきテーマを1) 強化、2) プロモーション 3) 事務局 4) 体罰 5) ビーチバレー 6) 一般の主に6つに絞り込み、第2回会議では「強化」をメインに議論した。

議論の結果、役員及び事務局員の意思疎通を深め、共通の目標に向かって事業運営を行い、事務局員の主体的な責任感と事業推進意欲を高めていくべきとの提言があった。また本会の目指すことをより具体化し、実際の行動化に資する指針・方針として「Mission Statement」を作成し、本会のバイブルとする必要がある。

### (3) PCT国際特許出願の件

競技用ネットにおけるネットロープの張力調整方法及び支援装置について国際特許出願されたことについて報告が行われた。

### (4) 2013年度第2回加盟団体代表委員総会報告について

2013年12月25日に開催された第2回加盟団体代表委員総会での会長挨拶（インドアバレーボール・ビーチバレーボールの強化、JVA組織強化、JVA国際力強化について）の報告が行われた。

### (5) 功労者Ⅱ表彰について

第4期(2013年度)第5回功労者Ⅱ表彰として下記の方の表彰を行うことが決定したとの報告があった。

○第4期(2013年度)第5回功労者Ⅱ表彰者

竹本久男(広島県バレーボール協会 副会長)

### (6) 2013年度第3四半期職務執行報告

法令及び理事会運営規程に基づき、第3四半期の職務執行報告が、羽牟代表理事及び業務執行理事から行われた。主な報告内容は以下のとおりである。

羽牟代表理事 強化事業本部本部長

- ①理事会・業務執行理事会の開催
- ②戦略企画会議への出席
- ③アジアバレーボール連盟（以下「AVC」）理事会、総会への出席
- ④国際バレーボール連盟（以下「FIVB」）スポーツイベント評議会、  
実行委員会への出席
- ⑤ワールドグランドチャンピオンズカップ（ジョイントMTG、開会挨拶、表彰等々）
- ⑥強化事業本部会議への出席

西脇事務局長 国際事業本部本部長

- ① 事務局規程改定関連業務
- ② 会議出席（加盟団体代表委員、全国ブロック長、男子強化委員会）
- ③ ワールドグランドチャンピオンズカップ大会運営
- ④ JVA IT 関連プロジェクト
- ⑤ FIVB 会議出席
- ⑥ FIVB SEC(スポーツイベント評議会)出席

下山業務執行理事 国内事業本部本部長

- ① 全国障害者スポーツ大会（団体）視察
- ② 会議、打合せ出席  
（業務執行理事会、ビーチバレーボール関連、  
天皇杯・皇后杯実行委員会、データーバレー、JVA・ゴールドプラン関連）
- ③ 一般社団法人日本バレーボールリーグ機構理事会への出席
- ④ 春高バレー抽選会
- ⑤ JOC カップ（中学生）代表者会議・閉会式への出席

岩満業務執行理事 M&M 本部本部長

- ①国体開会式出席
- ②オフィシャルスポンサーへのプロモート作業
- ③JVA 情報番組「VOLLEYBALL CHANNEL」内容確認作業
- ④肖像使用に関する作業
- ⑤新規公認、推薦企業の契約作業

小島業務執行理事

- ①ビーチバレーボール開催地調整
- ②ビーチバレーボール強化関連
- ③ビーチバレーボール大会開催に向けての

放送権と協賛セールス活動

④FIVB ビーチバレーボール委員会出席

⑤AVC 関連で北中米カリブ連盟（NORCECA）本部視察

**(7) 評議員選任に関する今後のスケジュールについて**

議長より 2014 年 6 月に開催される定時評議員会の終結の時をもって、評議員 20 名のうち 17 名が任期満了となるため、今後の評議員選任に関するスケジュールが説明された。

以上をもって議事の全ての審議を終了したため、議長は 18 時 34 分、閉会を宣した。